

# きらめき朝日

令和元年 10 月 23 日発行第 12 号  
校長 丹羽英樹

## 第2回学校運営協議会を開催いたしました。

10月4日(金)午後に第2回学校運営協議会を開催いたしました。学校運営協議会は、地域・保護者・学校の3者が力を合わせ、地域の宝である朝日中生を健やかに育てていくための重要な組織です。

この会議に先立ち、協議会では7月24日に先進地視察として舟形町立舟形中学校へ訪問してきました。舟形中は全校生徒137名と本校と同規模であり、地域資源を存分に生かしながら教育活動に励んでいる学校です。例年開催される県の郷土 yamagata ふるさと探究コンテストでは、本校と同様に毎年参加している学校でもあります。地域施設へのサマーボランティアや体育館を会場にした町産業のブース体験など地域や町行政と連携を密にした取組みを学んできました。

今回の第2回会議においては、熟議テーマを「キャリア教育を充実させるために」と設定し、2グループに分かれワークショップ形式で話し合いを実施。たくさんのご提言をいただきました。

.....

### <主なご提言の一部>

- 体験
  - ・起業家体験、社長体験などにより、社会構造や会社組織の構成などの知識を深めることも効果的では。
- コミュニケーション、表現力
  - ・毎朝、3分間スピーチなどで、自分の考えをいろいろな人の前で発信し、表現力や自信を育む。・社会人としての基本である挨拶や返事は忘れずに。
- 好きな仕事に出会う。
  - ・様々な職種の人に来校してもらいブース形式で学習する。
- 現状を知る。
  - ・教師と生徒のディスカッション「キャリアについて」
  - ・なぜ中学校の勉強は必要なのかを熟議しては。・未来の状態を皆で予想する授業も。
- 未来社会に向けて
  - ・SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」を学ぶ。  
(2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標)

<10/4 会議の内容>

- \*授業参観
- 報告
  - ・朝日中の最近の様子、経営状況
  - ・7月先進地視察まとめ
- 熟議
  - 「キャリア教育を充実させるために」



<お知らせ> 10/26(土) 本校文化祭を創遊館で開催します。保護者や地域の皆様のご来場をお待ちしております。9:00～開祭式・発表等 13:00～合唱コンクール

## 秋季ロードレースへの挑戦

10月20日(日)、寒河江市市民体育館周辺コースにおいて、第54回西村山地区秋季ロードレース大会が開催されました。当日は、曇り空ながらも太陽が顔を出す清々しい天気の中、本校から15名(男子9名、女子6名)の生徒が出場し、男女とも3kmで健脚を競いました。結果は、入賞まではあと一歩及ばなかったものの、日頃鍛えた心と走力を発揮し、最後まであきらめない粘り強い走りを見せてくれました。

本校には、陸上競技部がないため、希望者を募っての参加となりました。日頃の部活動に加えて、陸上競技にも挑戦し自分を高めようとする気持ちに敬意を表したいと思います。今回の走りそして挑戦は、大きな成長につながることを信じています。



## 調理実習「つるり芋 収穫芋煮会」

2年生の技術・家庭科では、つるり芋を栽培し生物育成の学習に取り組んでいます。今年もJ Aさがえ西村山さんに苗を提供いただき、また、栽培については朝日町の農業委員の方々にご指導いただきました。5月に校舎東側の学校園に植え付け、9月に収穫作業を行いました。



10月9日(水)の授業で、芋の皮をむくなどの下処理を行い、16日(水)1、2校時に、収穫を祝う芋煮会として調理実習を行いました。今回の芋はまだまだ小粒なものも多かったのですが、つるり芋本来のおいしさは変わらず、独特のぬめりと柔らかさ、甘さを味わうことができました。また、牛肉、ネギなどの同じ食材、調味料を使っても、各班の味の違いもあり、食べ比べをしてみる生徒もいました。調理や後片付けもスムーズにでき、とても有意義な時間となりました。

<つるり芋> 「おいしい山形」HPより

- ・西村山地区発祥のさと芋で、調理しても煮崩れせず、粘りや硬さ、甘みのバランスが良好。
- ・ポピュラーな品種「土垂」の種芋を室内で培養増殖し、畑では苗から育てるという独自の栽培法。

